

## 2024年3月期 業績概要

窪田 顕文

アンリツ株式会社  
取締役 専務執行役員

2024年4月25日



東証 プライム  
証券コード：6754  
<https://www.anritsu.com>

(ノート部記載なし)

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

(ノート部記載なし)

## 目 次

1. 事業概要
  2. 2024年3月期 連結決算概要
  3. 2025年3月期 通期業績予想（連結）
- Appendix：用語集

(ノート部記載なし)

1. 事業概要

通信計測事業

ネットワーク社会の進化・発展

- ◆ モバイル市場：5G、5G活用
- ◆ ネットワーク・インフラ市場：データセンター、光NW、無線NW
- ◆ エレクトロニクス市場：基地局建設保守、電子部品、無線設備



PQA事業

食と医薬品の安全・安心

- ◆ 食品検査市場
- ◆ 医薬品検査市場



環境計測事業

脱炭素社会を目指して

- ◆ EV・電池試験市場
- ◆ ローカル5G導入支援



その他

- ◆ センシング & デバイス
- ◆ その他



(セグメント別売上比率)

2023年3月期 実績（連結）：1,109億円

|          |                 |              |         |         |        |
|----------|-----------------|--------------|---------|---------|--------|
| 通信計測 66% |                 |              | PQA 22% | 環境計測 6% | その他 6% |
| モバイル 51% | ネットワーク・インフラ 30% | エレクトロニクス 19% |         |         |        |

2024年3月期 実績（連結）：1,100億円

|          |                 |              |         |         |        |
|----------|-----------------|--------------|---------|---------|--------|
| 通信計測 64% |                 |              | PQA 23% | 環境計測 7% | その他 6% |
| モバイル 42% | ネットワーク・インフラ 36% | エレクトロニクス 22% |         |         |        |

(通信計測事業 地域別売上比率)

2023年3月期 実績

|        |          |        |          |
|--------|----------|--------|----------|
| 日本 15% | アジア他 43% | 米州 24% | EMEA 18% |
|--------|----------|--------|----------|

2024年3月期 実績

|        |          |        |          |
|--------|----------|--------|----------|
| 日本 16% | アジア他 38% | 米州 26% | EMEA 20% |
|--------|----------|--------|----------|

(ノート部記載なし)

## 2-1. 連結決算概要 - 業績サマリー -

▶ 前年同期比 受注：3%減、売上：1%減収、営業利益：24%減益、当期利益：17%減益

| 国際会計基準(IFRS) | (単位：億円) |       |              |                 |
|--------------|---------|-------|--------------|-----------------|
|              | 前期実績    | 当期実績  | 前年同期比<br>増減額 | 前年同期比<br>増減率(%) |
| 受注高          | 1,101   | 1,073 | △ 28         | △3%             |
| 売上高          | 1,109   | 1,100 | △ 9          | △1%             |
| 営業利益         | 117     | 90    | △ 27         | △24%            |
| 税引前利益        | 124     | 100   | △ 24         | △20%            |
| 当期利益         | 93      | 77    | △ 16         | △17%            |
| 当期包括利益       | 133     | 132   | △ 1          | △1%             |

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入（前年同期比増減額を除く）

グループ全体の受注高は前年同期比3%減の1,073億円、売上高は前年同期比1%減の1,100億円となりました。営業利益は前年同期比24%減の90億円、当期利益は前年同期比17%減の77億円となりました。

なお、当期包括利益は、前年同期比1%減の132億円となりました。

## 2-2. 連結決算概要 - 事業別売上高・営業利益 -

通信計測は前年同期比減収減益、PQAは前年同期比増収、環境計測は増収増益

(単位：億円)

| 国際会計基準(IFRS) |      | 前期実績  | 当期実績  | 前年同期比<br>増減額 | 前年同期比<br>増減率(%) |
|--------------|------|-------|-------|--------------|-----------------|
| 通信計測         | 売上高  | 728   | 710   | △ 18         | △ 2%            |
|              | 営業利益 | 109   | 75    | △ 34         | △ 31%           |
| PQA          | 売上高  | 248   | 254   | 6            | 2%              |
|              | 営業利益 | 13    | 13    | △ 0          | △ 3%            |
| 環境計測         | 売上高  | 64    | 74    | 10           | 17%             |
|              | 営業利益 | 1     | 5     | 4            | 944%            |
| その他          | 売上高  | 69    | 61    | △ 8          | △ 12%           |
|              | 営業利益 | 6     | 8     | 2            | 45%             |
| 調整額          | 営業利益 | △ 11  | △ 12  | △ 1          | -               |
| 合計           | 売上高  | 1,109 | 1,100 | △ 9          | △ 1%            |
|              | 営業利益 | 117   | 90    | △ 27         | △ 24%           |

(注1) 値はそれぞれの欄で四捨五入（前年同期比増減額を除く）

(注2) 調整額にはセグメント間取引消去、各事業セグメントに配分していない全社費用が含まれています。

通信計測事業は、生成AIの普及拡大によるデータセンター等でのネットワーク高速化に向けた測定需要は堅調であるものの、世界的な5Gスマートフォンの開発投資需要の減少により、売上高は前年同期比2%減の710億円、営業利益は前年同期比31%減の75億円（営業利益率10.6%）の減収減益となりました。

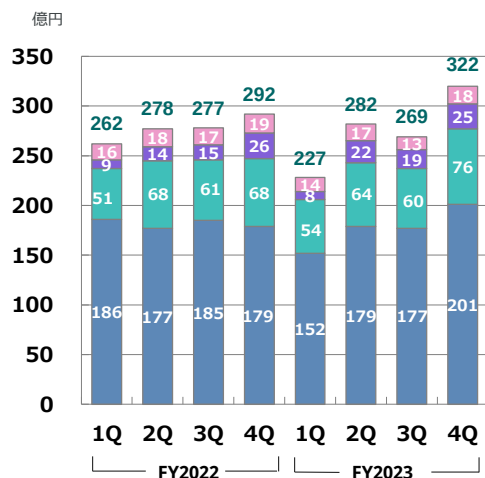
PQA事業は、食品市場の品質保証プロセスの自動化、省人化を目的とした設備投資需要が堅調に推移しましたが、費用面では、第4四半期に固定資産除却損3億円が発生したことにより、売上高は前年同期比で2%増の254億円、営業利益は前年同期と同水準の13億円（営業利益率5.1%）となりました。

環境計測事業は、国内においてEV・電池向け試験需要が堅調に推移し、売上高は前年同期比17%増の74億円、営業利益は前年同期比4億円増の5億円（営業利益率7.2%）の増収増益となりました。

その他の事業では、売上高は前年同期比12%減の61億円、営業利益は前年同期比45%増の8億円（営業利益率13.2%）の減収増益となりました。

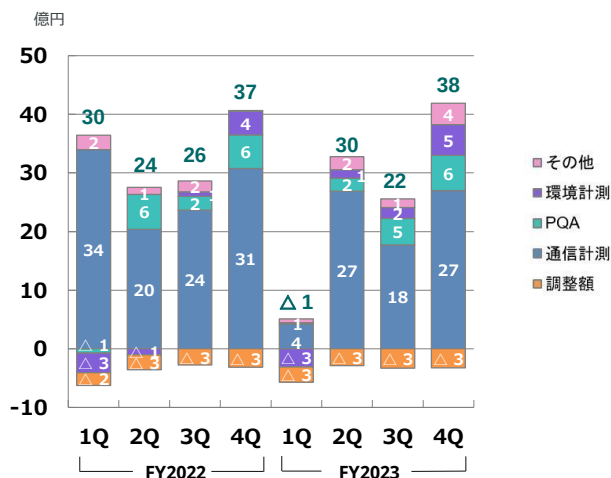
## 2-3. 連結決算概要 - 四半期毎 売上高・営業利益 -

▶ 4Q(1-3月)営業利益率：通信計測 13.2%、PQA 7.8%、環境計測 20.6%



売上高

(注) 値はそれぞれで四捨五入



営業利益

第4四半期の連結及び各事業セグメントの営業利益、営業利益率は下記のとおりです。

|      |                   |
|------|-------------------|
| 連結   | 38億円（営業利益率：11.9%） |
| 通信計測 | 27億円（営業利益率：13.2%） |
| PQA  | 6億円（営業利益率：7.8%）   |
| 環境計測 | 5億円（営業利益率：20.6%）  |

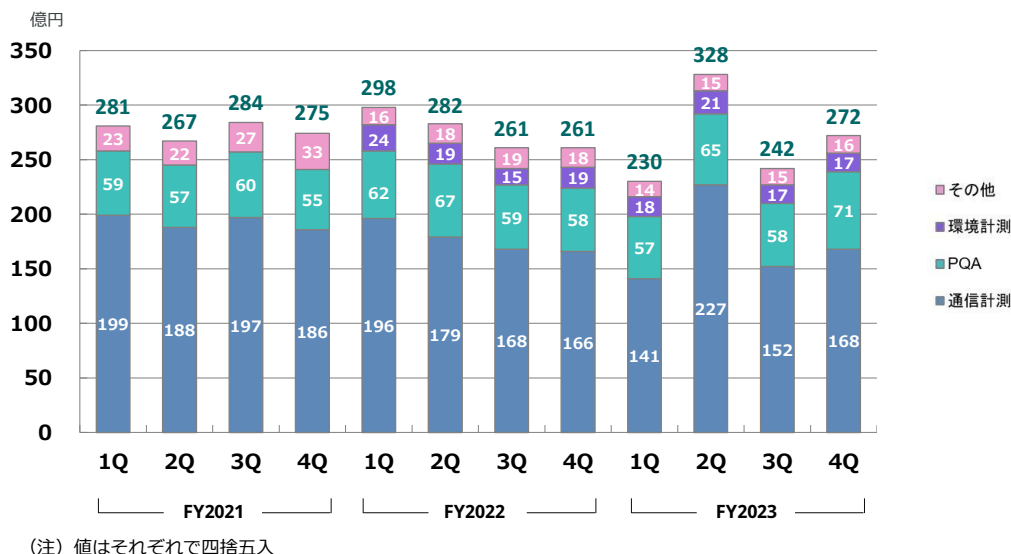
## 2-4. 事業別営業概況

| セグメント 2024年3月期（4-3月）の状況                                                      |                                           |
|------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| <p>➡ 通信計測：世界的な物価、人件費上昇等で止まっていた設備投資が再開も、投資への慎重姿勢が継続<br/>固定ネットワークの高速化需要は順調</p> |                                           |
| モバイル                                                                         | 5G開発市場の投資は不安定も需要は継続                       |
| ネットワークインフラ                                                                   | グリーンデータセンターや生成AI専用のデータセンターの構築が加速          |
| エレクトロニクス                                                                     | 6G基礎研究がスタート                               |
| アジア他・日本                                                                      | 中国の5Gスマホ開発市場の投資停滞もデータセンター関連市場が活況          |
| アメリカ                                                                         | 6G等の基礎研究の需要が旺盛<br>生成AI等の好調によりデータセンター市場が活況 |
| <p>➡ PQA：欧米の食肉市場は減速も、加工食品市場が堅調。国内はインバウンド需要により好調</p>                          |                                           |
| <p>➡ 環境計測：EV・電池向け試験装置の需要が堅調</p>                                              |                                           |

(ノート部記載なし)

## 2-5. 受注高推移

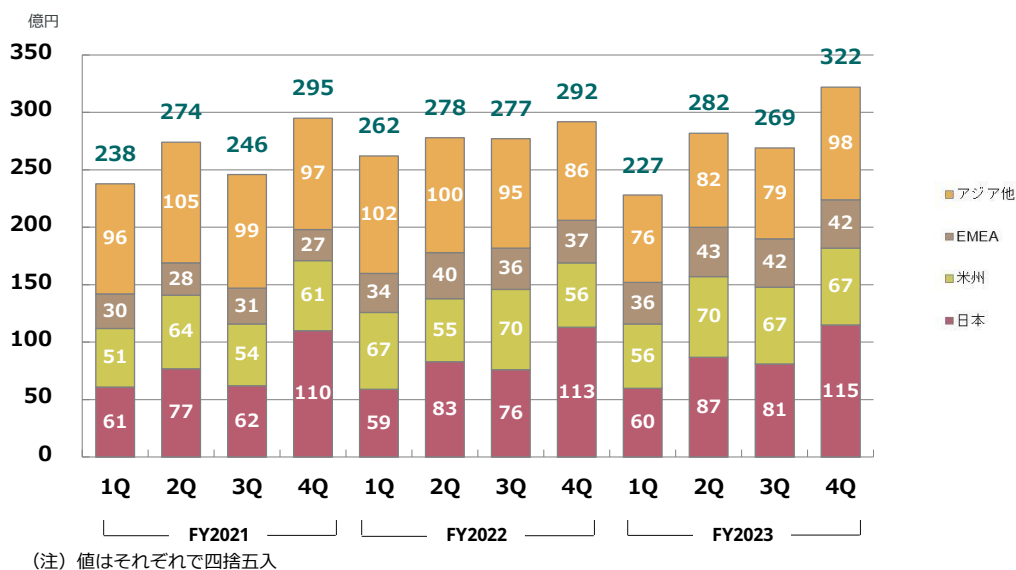
▶ 前年同期比 通信計測：2%増、PQA：22%増、環境計測：10%減



第4四半期のセグメント毎の受注高は、それぞれ前年同期比、通信計測事業では2%増の168億円、PQA事業では22%増の71億円、環境計測事業では10%減の17億円となりました。

なお、受注残高はグループ全体では347億円（前年同期比0.4%増）、通信計測事業では230億円（同2%増）、PQA事業では66億円（同1%増）、環境計測事業では38億円（同6%減）となりました。

## 2-6. 地域別売上高推移



(ノート部記載なし)

## 2-7. キャッシュフロー

▶ 営業CFマージン率 15.1%

### FY2023 (4-3月)

①営業CF： 166億円

②投資CF： △36億円

③財務CF： △66億円

### フリーキャッシュフロー

(①+②)： 129億円

### 現金同等物期末残高

457億円

### 有利子負債高

72億円

(注) 値はそれぞれで四捨五入

内訳 (単位：億円)

|          |          |          |         |
|----------|----------|----------|---------|
| その他      | 27       |          |         |
| 減価償却     | 59       |          |         |
| 棚卸資産     | 35       |          |         |
| 税引前利益    | 100      |          |         |
|          |          | その他 2    |         |
| 売上債権 △16 |          | 設備投資 △38 | 配当金 △53 |
| 税金 △23   |          |          |         |
| 仕入債務 △16 |          |          | その他 △13 |
| 営業CF 166 | 投資CF △36 | 財務CF △66 |         |

営業キャッシュフローは、166億円の資金獲得となりました。

投資キャッシュフローは、36億円の資金支出となりました。

その結果、フリー・キャッシュフローは129億円の資金獲得となりました。

財務キャッシュフローは、66億円の資金支出となりました。主なものは、配当金の支払い53億円（期末配当分 1株20円および中間配当分 1株20円）です。

以上の結果、現金同等物期末残高は、期首残高より88億円増加の457億円となりました。

### 3-1. 2025年3月期 通期業績予想（連結）

▶ 主要3セグメント全てで増収増益を狙う

（単位：億円）

|       |      | 2024/3期 | 2025/3期 |                        |
|-------|------|---------|---------|------------------------|
|       |      | 前期実績    | 通期予想    | 前年同期比<br>増減額<br>増減率(%) |
| 売上高   |      | 1,100   | 1,150   | 50<br>5%               |
| 営業利益  |      | 90      | 110     | 20<br>22%              |
| 税引前利益 |      | 100     | 110     | 10<br>11%              |
| 当期利益  |      | 77      | 83      | 6<br>8%                |
| 通信計測  | 売上高  | 710     | 738     | 28<br>4%               |
|       | 営業利益 | 75      | 92      | 17<br>22%              |
| PQA   | 売上高  | 254     | 267     | 13<br>5%               |
|       | 営業利益 | 13      | 19      | 6<br>47%               |
| 環境計測  | 売上高  | 74      | 90      | 16<br>21%              |
|       | 営業利益 | 5       | 7       | 2<br>30%               |
| その他   | 売上高  | 61      | 55      | △ 6<br>△ 10%           |
|       | 営業利益 | 8       | 4       | △ 4<br>△ 51%           |
| 調整額   |      | △ 12    | △ 12    | 0<br>-                 |

（参考）FY23 為替レート : 1米ドル145円、1ユーロ157円  
FY24 想定為替レート : 1米ドル145円、1ユーロ155円

（注）値はそれぞれの欄で四捨五入（前期比増減額を除く）

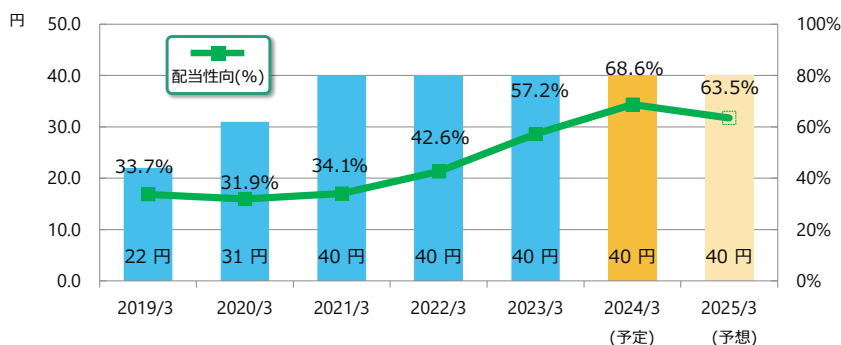
当社グループの主力である通信計測事業においては、生成AIの普及拡大によるデータセンター等でのネットワーク高速化に向けた測定需要が今後も拡大していくことが期待できます。また、自動車の5G搭載に向けた開発、NTN関連の開発、5Gミリ波の整備などでの測定需要の拡大や「Release 18」以降で標準化される5G-Advancedや6Gに向けた測定需要の獲得を目指していきます。

PQA事業においては、食品市場の品質保証プロセスの自動化、省人化を目的とした設備投資需要を確実に捉え、海外市場の売上拡大を目指します。

環境計測事業においては、堅調な推移が見込まれる国内のEV・電池向け試験需要を確実に捉えていきます。

### 3-2. 配当予想について

2025年3月期 年間配当予想 : 40円



| 3年間の<br>配当性向 | GLP2020<br>(FY2018～FY2020) | GLP2023<br>(FY2021～FY2023) |
|--------------|----------------------------|----------------------------|
|              | 33.3%                      | 54%(予定)                    |

2024年3月期の配当は、2024年1月30日の2024年3月期業績予想発表時に公表した1株当たり年間40円（うち中間配当20.0円）を予定しております。

2025年3月期の配当は、業績見通しの達成を前提として、1株当たり年間40円（うち中間配当20.0円）を予定しております。

今後も、総還元性向を勘案した利益処分を行うことで、株主還元の充実を図ってまいります。

#### 【配当方針】

当社は、株主の皆様に対する利益還元について、連結業績に応じるとともに、総還元性向を勘案した利益処分を行うことを基本方針としております。

剰余金の配当については、連結当期利益の上昇に応じて、親会社所有者帰属持分配当率（DOE：Dividend On Equity）を上げることを基本にしつつ、連結配当性向50%以上を目標としており、株主総会決議もしくは取締役会決議により、期末配当及び中間配当の年2回の配当を行う方針です。

自己株式の取得は、企業環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するために、財務状況、株価の動向等を勘案しながら、必要に応じ適切に実施していく方針です。

| 3年間の<br>総還元性向 | GLP2020<br>(FY2018～FY2020) | GLP2023<br>(FY2021～FY2023)     |
|---------------|----------------------------|--------------------------------|
|               | 33.3%                      | 87%(予定)<br>(自己株式取得<br>100億円含む) |

# Appendix

(ノート部記載なし)

|            |                                         |
|------------|-----------------------------------------|
| ADAS :     | Advanced Driver-Assistance Systems      |
| AR :       | Augmented Reality                       |
| A-SKILLS : | Anritsu SKILLS training center          |
| CPE :      | Customer Premises Equipment             |
| CSR:       | Corporate Social Responsibility         |
| GLP :      | Global Long-term management Plan        |
| IOWN :     | Innovative Optical and Wireless Network |
| ML :       | Machine Learning                        |
| NTN :      | Non-Terrestrial Network                 |
| O-RAN :    | Open Radio Access Network               |
| PGRE :     | Private Generation of Renewable Energy  |
| PQA :      | Products Quality Assurance              |
| ROE:       | Return On Equity                        |
| VR :       | Virtual Reality                         |
| V-RAN :    | Virtual Radio Access Network            |

(ノート部記載なし)



(ノート部記載なし)